

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018年	8月	19日	記入者	久門たつお
調査者名	小倉	久門	鈴木	仲谷	水間

調査対象先	旧前坊家住宅＝旧所在：吉野郡吉野町吉野山				
所在地	大和郡山市矢田町545、県立民俗博物館・大和民俗公園			電話番号	0743-53-3171
代表者 調査対応者	県立民俗博物館総務課の森川龍太郎係長				
対象文化財	彫刻	県指定： 〃 件	国宝： 〃 件	重文： 〃 件	
	建造物	県指定： 1 件 3 棟	国宝： 〃 件 棟	重文： 〃 件 棟	

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input checked="" type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容		
	今後の予定		
	要望		
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	特にない。 その他(大和民俗公園の古民家は文化的・建築的価値伝承のため移築復原したもので、形状を変える耐震補強はあえて行っていない。)	
	要望	特にない。	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	県指定は主屋(一部2階建て)、渡廊下(平屋建て)、離座敷(同)の3棟で、いずれも木造杉皮葺き。要所に火災感知器を取り付け、消火器を配置している。屋外に火災報知機、放水銃も設置。	
	今後の予定	県立民俗博物館・大和民俗公園として大和郡山市消防と2年ごとに総合防火訓練を実施しており、今後も継続していく。	
	要望	旧前坊家住宅は江戸中期から後期、金峯山寺の門前町筋に吉野建てで建築。現在地での復原は1988～90年。杉皮の更新は約20年ごとに行う必要があり、要望が認められ2019年度で行う予定。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	<input type="checkbox"/> その他()	
	要望		

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先

旧前坊家住宅＝旧所在：吉野郡吉野町吉野山

獣害・白アリ等の対策

① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	公園エリアにアライグマが出没しており、棲み着いていた古民家もあった。旧前坊家住宅でも外部の柱に引っかき傷が散見される。スズメバチの巣が見つかった古民家もある。
③ 今後	今後の予定、要望	アライグマの駆除では大和郡山市とも連携して進めていく。スズメバチ対策は巣の駆除を地道にやっていきたい。

県指定の江戸中期以降建築の旧前坊家住宅主屋

県指定は右から主屋、渡廊下、離座敷の3棟(東から)



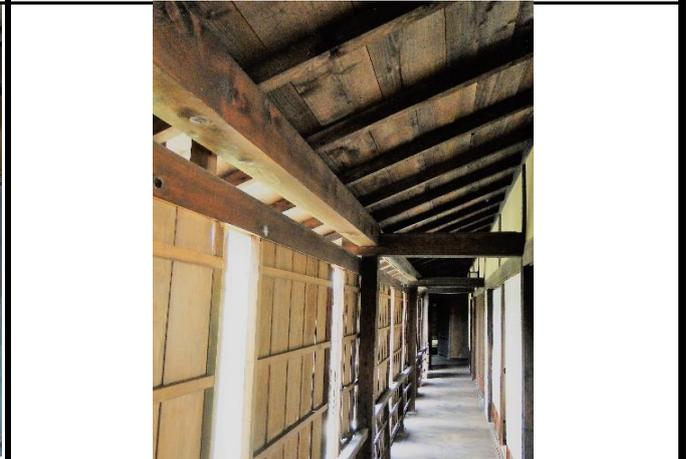
主屋(左奥)と渡廊下(右側)



渡廊下の内部



主屋近くに設けられた放水銃の格納庫



【調査票記入者(久門たつお)の感想】



民博は古民家の文化的・建築的価値伝承のため移築復原したので耐震補強はあえて行っていないとの考え。しかし、文化財保存の観点で、まず耐震調査から始めてもいいのではないだろうか。